第32回 日本 GWT 全国研修交流会 in 島根
～ GWT ★ 縁を紡ぐ ～

「第 32 回日本ＧＷＴ全国研修交流会 in 島根」が、１月 12 日、13 日の２日間にわたり、松江勤労者総合福祉センター（松江テルサ）で開催され、全国から 30 余名の皆さんが集まりました。ご縁の国島根での開催ということもあり、テーマは、「ＧＷＴ★縁を紡ぐ」。将来の変化が予測困難な今を生き抜いていくために必要な関係力（「縁の力」）について考え、その力の醸成に働くＧＷＴの在り方を探ることを目指しました。

研修交流会は、島根支部のウェルカムＧＷＴからスタート。ペアでそれぞれ赤と白のひもを持ち、片手でそのはしを結んで１本のひもにしました。次に４人組で同様に一本のひもにし、最後は全員で１本の大きなひもの輪にしました。そして、参加者全員がその輪を持ち、「１・２・３・４・ご縁！」と声を合わせて上に掲げての笑顔いっぱいの開会となりました。

１日目の発表は、「『知的障がいのある受刑者へのＧＷＴ実践報告』＆『クイズをつくろう！』（斎藤聖子さん）、「『自己発見』プログラムにおける簡易内観法体験」（三上吉洋さん）、「どんどんごろごろわーくわく」（熊﨑尚登さん）でした。

なかなか正解を出せないようなクイズや、すぐに正解できるようなクイズを考え、他のチームに答えてもらう中で、自分の気持ちがどのように変化したかに気づくことができました。

自分の人生に影響を与えた人物の名前とその人にしてもらったことなどを書き出し、今の自分をつくるきっかけとなった出会いについて考えました。

オノマトペを使ってグループでお話をつくった後で、考えや思いを伝える方法や表現について振り返り、自分の生活にどのように活かすかを考えました。

２日目の発表は「拝啓ＧＷＴ様～ＧＷＴへのラブレター～」（理事会主催）、「ご縁結び」（井田昭彦さん）、「メンバーが入れ替わったらチームはどうする」（犬飼巳紀子さん）でした。

ＧＷＴにラブレターを書いて感じたことなどを振り返り、ＧＷＴとどのように向き合い、一人一人が何を始めるかじっくりと考えました。研修交流会の中で、誰のどんな言動が心に残っているかを振り返り、そこからの学びを共有しました。その後、その人に感謝のメッセージを伝えに行き、グループに戻ってワークを通して感じたこと、気づいたことを振り返りました。集団じゃんけんをして、新しいメンバーが加わったときや自分が新しいチームに移動したときの自分やチームの様子を振り返り、集団のルールに疑いもなく従ってしまう自分に気づくことができました。

次回の第 33 回全国研修交流会は、2026 年 1 月 11 日（日）・12 日（月･祝）に長野県松本市で開催されます。島根で紡いだご縁をさらに広げるべく、友人知人をお誘い合わせの上ぜひご参加ください！

（渡邉）